

患者さんへの研究協力をお願い

研究課題名
歯科矯正治療が顎顔面形態の変化に及ぼす影響について
実施期間
令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで
研究の意義・目的
歯科矯正治療は歯の位置を変化させることは顎顔面形態に影響を及ぼすと考えられていますが、その詳細は十分に明らかにされていません。本研究では歯科矯正治療の前後に撮影された矯正セファログラムや歯科用 CT を使用し、歯の移動量と顎顔面形態の変化について評価し、矯正治療の分析、治療計画の立案に役立てることを目的とします。
研究方法
1) 令和元年 4 月～令和 6 年 3 月に来院した患者の年齢、性別、不正咬合の状態、矯正歯科治療を行うための顎顔面の計測データを収集します。収集する情報は個人を特定する情報を含みませんので個人情報が増えることはありません。 2) 矯正歯科治療による歯の移動量と、顎顔面形態の変化量について解析を行い、その関連性を検討します。
問い合わせ窓口
日本大学歯学部歯科矯正学講座 研究責任者 馬谷原琴枝 連絡先 電話 03-3219-8105

本研究にご賛同いただけない方は、上記連絡先までご連絡ください。